


**中心市街地活性化基本計画  
令和元年度最終フォローアップ報告**



**令和 2 年 10 月**

**内閣府地方創生推進事務局**

# 目 次

- I. 中心市街地活性化基本計画 令和年度最終フォローアップの概要 …… 1 ページ
- II. 目標指標分野別分析結果の概要 …… 3 ページ
  - (1) 集計結果
  - (2) 取組の進捗状況
  - (3) 目標達成の状況
  - (4) 基準値からの改善状況
- III. 計画期間終了後の中心市街地の状況 …… 9 ページ
  - (1) 進捗・完了状況及び活性化状況について
  - (2) 中心市街地活性化協議会の評価について
  - (3) 市民からの評価、市民意識の変化について
- IV. 好取組事例 …… 11 ページ
- V. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各自治体からの報告 15 ページ

# I. 中心市街地活性化基本計画 令和元年度最終フォローアップの概要

## 最終フォローアップについて

- 国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画では、各自治体が複数の目標を掲げている。各目標においては、その達成状況を的確に把握できるよう、定量的な指標（目標指標）を設定している。
- 当該基本計画については、各自治体自ら計画期間満了後に、取組（事業等）が予定どおり完了したのか、目標は達成されたのか等を自己評価（最終フォローアップ）として報告して頂いている。
- 令和元年度の最終フォローアップの対象となる21市の21計画では、合計74の目標指標が設定されており、各種事業等をもって目標達成に向けた取組が行われてきたところであり、その評価結果をとりまとめる。

## 令和元年度最終フォローアップ対象計画

**21市 21計画 74指標** （詳細はP.15に掲載）

【参考：平成30年度】11市 11計画 39指標

## 取組の進捗状況と目標達成状況に関する集計結果

- 最終フォローアップ対象74指標のうち、目標を達成した指標は23指標、関連事業が概ね予定どおり完了した指標は57指標であった。
- 関連事業が概ね予定どおり完了した57指標だけを見ると、基準値から改善したものは39指標（69%）となっている。

	関連事業が概ね予定どおり 完了した場合		関連事業が予定どおり 完了しなかった場合		合計	
	指標数 (平成30年度)	割合	指標数 (平成30年度)	割合	指標数 (平成30年度)	割合
計画当初より改善	<b>39指標</b> (平成30年度:22指標)	69%	<b>6指標</b> (平成30年度:3指標)	36%	<b>45指標</b> (平成30年度:25指標)	<b>61%</b>
目標達成	(21指標) (平成30年度:15指標)	(37%)	(2指標) (平成30年度:1指標)	(12%)	(23指標) (平成30年度:16指標)	(31%)
計画当初より悪化	<b>18指標</b> (平成30年度:9指標)	31%	<b>11指標</b> (平成30年度:5指標)	64%	<b>29指標</b> (平成30年度:14指標)	39%
合計	<b>57指標</b> (平成30年度:31指標)	100%	<b>17指標</b> (平成30年度:8指標)	100%	<b>74指標</b> (平成30年度:39指標)	100%

### (参考) <最終フォローアップにおける取組の進捗状況及び目標達成状況の分類>

- A 最新の実績では目標値を超えている。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- a 最新の実績では目標値を超えている。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)
- B 最新の実績では目標値には達していないが、基準値は超えている。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- b 最新の実績では目標値には達していないが、基準値は超えている。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)
- C 最新の実績では目標値及び基準値に達していない。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- c 最新の実績では目標値及び基準値に達していない。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)

## 最終フォローアップにおける評価指標の目標達成等の状況(累計)

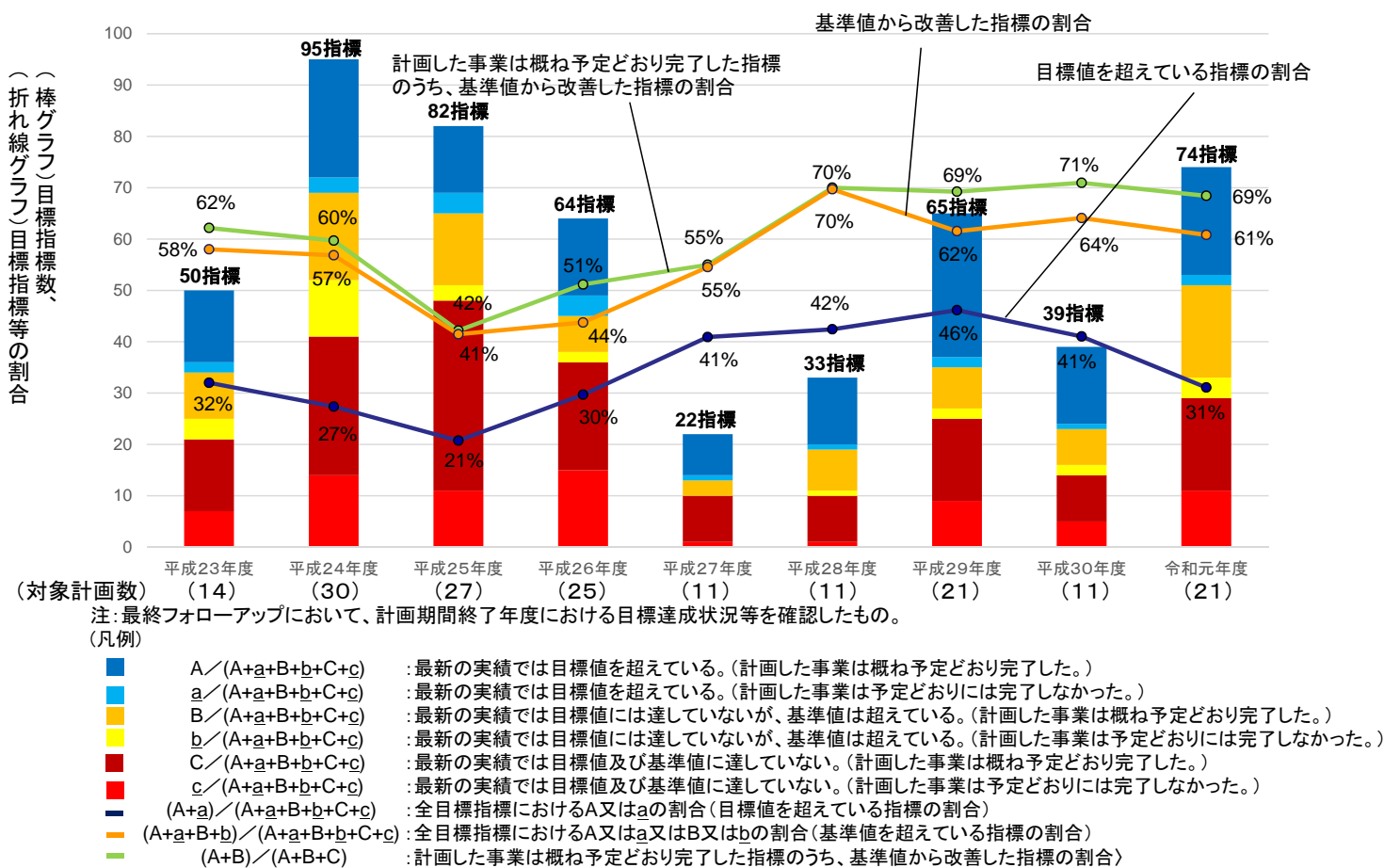
令和2年10月現在、累計148市2町248計画が中心市街地活性化基本計画の認定を受け、うち125市171計画について、計画期間終了後、最終フォローアップ報告書を作成(次の計画期間に入っている自治体を含む。)

最終フォローアップにおける、各計画の評価指標(524指標)の目標達成状況は以下のとおり。

	計画当初より改善	
		うち、目標達成
にぎわいの創出：281指標	169指標 (60.1%)	97指標 (34.5%)
街なか居住の推進：107指標	45指標 (42.1%)	23指標 (21.5%)
経済活力の向上：94指標	50指標 (53.2%)	31指標 (33.0%)
公共交通の利便の増進：18指標	12指標 (66.7%)	8指標 (44.4%)
その他：24指標	14指標 (58.3%)	11指標 (45.8%)
<b>合計：524指標</b>	<b>290指標 (55.3%)</b>	<b>170指標 (32.4%)</b>

## 中心市街地活性化基本計画における目標達成等の状況の推移

(指標数、%)



## II. 目標指標分野別分析結果の概要

各自治体が最終フォローアップを行った目標指標を5分野に分類し、各分野の取組の進捗状況、目標達成状況、基準値からの改善状況等について分析した。

### (1) 集計結果

#### 目標指標分野別集計結果

- 各自治体が最終フォローアップを行った目標指標に係る取組の進捗・完了状況及び目標達成の状況等について、以下の①～⑤の5つに分類した上で集計を行った。

達成状況	全体	① にぎわいの創出	② 街なか居住の推進	③ 経済活力の向上	④ 公共交通の利便の増進	⑤ その他
A	21	10	2	9	0	0
a	2	1	1	0	0	0
B	18	11	2	5	0	0
b	4	1	2	1	0	0
C	18	12	2	2	2	0
c	11	4	5	0	0	2
合計	74	39	14	17	2	2

目標指標分類	主な目標指標	主な取組例
① にぎわいの創出	歩行者・自転車通行量、観光・文化施設利用者数 等	複合施設整備事業、賑わい交流施設整備事業、地域交流センター整備事業、歩行者空間整備事業、図書館・美術館整備事業 等
② 街なか居住の推進	居住人口、社会増減、市全体の人口に対する中心市街地の人口の割合 等	市街地再開発事業、優良建築物等整備事業、住宅取得資金助成事業 等
③ 経済活力の向上	空き店舗数、新規創業数、小売業年間商品販売額 等	空き店舗等活用事業、テナントミックス推進事業、まちなか出店支援事業、既存店舗改修事業 等
④ 公共交通の利便の増進	駅乗降客数 等	駅周辺整備事業、モビリティ・マネジメント事業 等
⑤ その他	上記以外の指標として、令和元年度は、「市民意識調査における「駅周辺の整備・商店街の活性化」の満足率」が最終フォローアップの対象となっている。	

## (2)取組の進捗状況

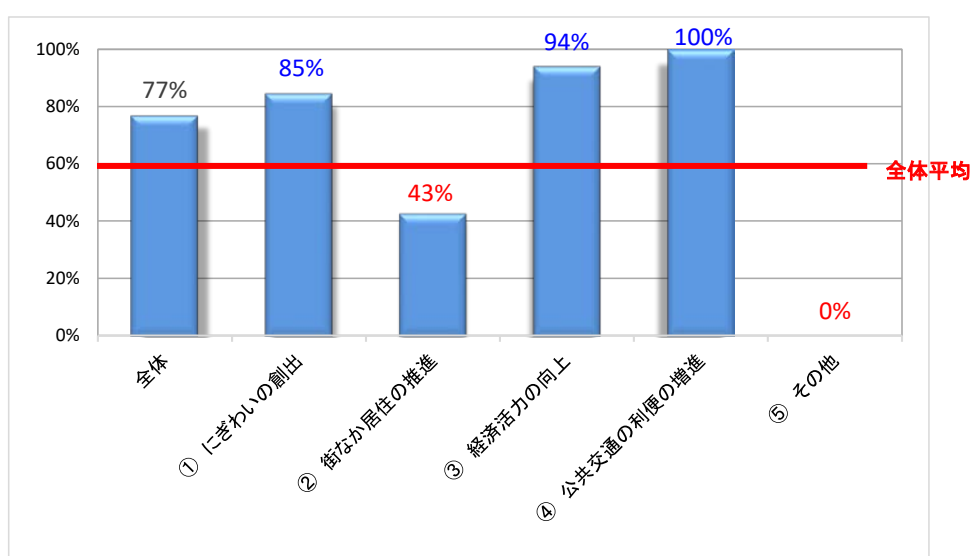
- 関連する取組（事業等）が順調に完了した<sup>(注1)</sup> 目標指標は、全体の77%である。（平成30年度 79%）
- 「にぎわいの創出」、「経済活力の向上」、「公共交通の利便の増進」に関する目標指標は、取組が順調に完了した目標指標の割合（取組順調率）が全体平均よりも高い<sup>(注2)</sup>。
- 一方で、「街なか居住の推進」、「その他」に関する目標指標の取組順調率は、全体平均よりも低い<sup>(注2)</sup>。

### 取組の進捗状況に関する分析結果

<各目標指標分野の取組の進捗状況の割合>

	全体	① にぎわいの 創出	② 街なか 居住の推進	③ 経済活力 の向上	④ 公共交通の 利便の増進	⑤ その他
順調 (A+B+C)	57	33	6	16	2	0
順調でない (a+b+c)	17	6	8	1	0	2
合計	74	39	14	17	2	2
<b>取組順調率</b>	<b>77%</b>	<b>85%</b>	<b>43%</b>	<b>94%</b>	<b>100%</b>	<b>0%</b>

<目標指標分野別の取組順調率>



(注1) 取組の進捗状況及び目標達成状況の分類（P1参照）のうち、「取組（事業等）が順調に完了した」ものとは、A、B及びCが該当する。

(注2) 全目標指標のうち取組順調率が77%であるため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「取組順調率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

### (3)目標達成の状況

- 目標を達成した<sup>(注1)</sup> 目標指標は、全体の31%である。(平成30年度 41%)
- 「経済活力の向上」に関する目標指標は、目標を達成もしくは概ね達成した目標指標の割合が全体平均よりも高い<sup>(注2)</sup>。
- 一方で、「にぎわいの創出」、「街なか居住の推進」、「公共交通の利便の増進」、「その他」に関する目標指標の目標達成率は、全体平均よりも低い<sup>(注2)</sup>。

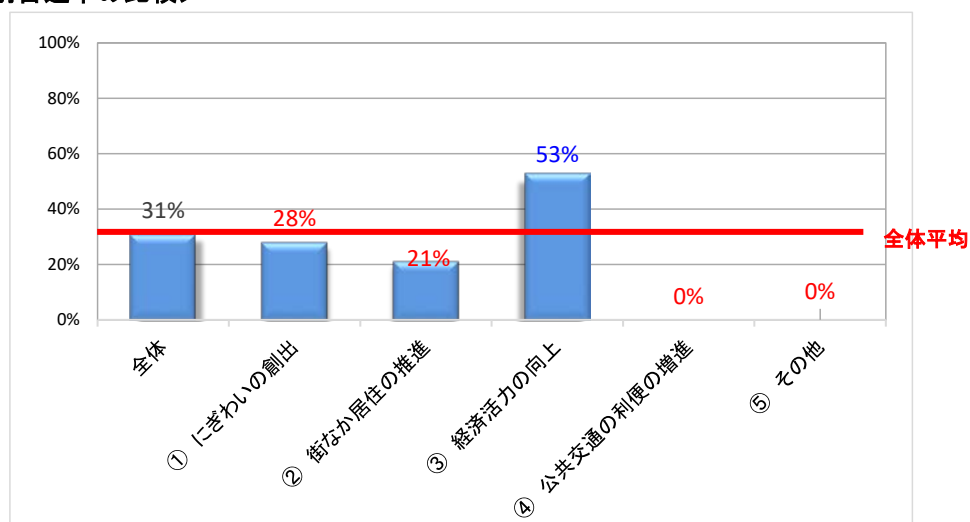
#### 目標達成状況に関する分析結果

##### <各目標指標分野の目標達成状況>

	全体	① にぎわいの 創出	② 街なか 居住の推進	③ 経済活力 の向上	④ 公共交通の 利便の増進	⑤ その他
目標達成 (A+a)	23	11	3	9	0	0
未達成 (B+b+C+c)	51	28	11	8	2	2
合計	74	39	14	17	2	2
<b>目標達成率</b>	<b>31%</b>	<b>28%</b>	<b>21%</b>	<b>53%</b>	<b>0%</b>	<b>0%</b>
概ね目標達成※ (A+a+B1+b1)	24	11	3	10	0	0
<b>概ね目標達成率</b>	<b>32%</b>	<b>28%</b>	<b>21%</b>	<b>59%</b>	<b>0%</b>	<b>0%</b>

※B、bのうち目標値を達成していないが、その80%を超えるものをB1、b1とする。

##### <目標指標分野別目標達成率の比較>



(注1) 取組の進捗状況及び目標達成状況の分類 (P 1 参照) のうち、「目標を達成した」ものとは、A 及び a が該当する。

(注2) 全目標指標の目標達成率が31%であったため、これと比較して数値が大きい(小さい)場合には、「目標達成率が全体平均よりも高い(低い)」としている。

## 目標が達成できなかった主な要因

- 目標が達成できなかった51指標の主な要因は、次のとおりである。
  - ①事業の遅延または未着手により、計画期間内に効果が発現しなかった。
  - ②事業は概ね予定通りに進捗したものの、当初想定していた効果が得られなかったことや、外的な要因により効果が相殺された。
- 上記①の具体例については、以下のとおりである。
  - ・地権者や民間事業者との合意形成が得られなかった。
  - ・事業内容の見直しや調整に時間を要した。
  - ・自然災害により進捗が遅れた。
- 上記②の具体例については、以下のとおりである。

### 「にぎわいの創出」の分野

- ・駅周辺整備のハード事業は概ね完了し、一定の成果は出ているものの、魅力ある店舗やイベントの情報発信の不足により、訪れた人が目的の場所に行くだけでその後の回遊にはつながらなかった。
- ・魅力的で賑わいのある空間が形成されたが、地域内での大型百貨店の閉店に加え、別地点への新規店舗のオープンによって、歩行者の導線が変化した。
- ・新型コロナウイルスの影響で、イベントの中止や施設の休館が相次ぎ、まちなかの通行量が減少した。

今後の対策としては、街全体の集客力を高めるような拠点施設の整備やイベントの実施、効果的な情報発信を行い、歩いて楽しめる空間を創出するとともに、新しい日常に対応した事業の実施や体制の構築に取り組むこととしている。

### 「街なか居住の推進」の分野

- ・マンション建設等のハード事業が完了し、居住者の増加に寄与したものの、中心市街地の高齢化に伴う出生数の減少による自然減をカバーする以上の効果が表れなかった。

今後の対策としては、ファミリー世帯を中心に幅広い世代のまちなか居住のニーズに対応するため、住みよいまちづくりに取り組んでいくとしている。

### 「経済活力の向上」の分野

- ・営業店舗数の増加に向けたテナント施設整備は完了したものの、施設単体としての魅力不足により、観光拠点から離れた位置にある施設までの新たな歩行動線を確立するまでには至らず、利用者の伸び悩みにより店舗数が維持できなかった。
- ・空き店舗活用促進事業を実施したことにより空き店舗率も一定の改善は見られたが、経営者の高齢化に伴う廃業のペースが新規開業よりも上回った。

今後の対策としては、能動的な経営支援を行い、一時的な空き店舗の解消ではなく、計画的、継続的なまちの活性化を図っていくとしている。



## 計画変更により状況が改善した主な例

- 計画変更により状況が改善したとされた具体例については、以下のとおりである。
  - ・重要商業地点において発生した大型商業店舗空きビルを取得し、来街観光客及び市民に対しての中心市街地商店街コンシェルジュ機能を核とした多機能複合型ビルへと再生する事業を追加することで、エリアのにぎわいが創出された。
  - ・計画当初は老朽化した駐車場の再整備のみであった事業を、共同住宅、店舗・業務施設、駐車場及び外周道路を一体的に整備する市街地再開発事業へ計画変更することにより、居住環境の改善につながり、定住人口の増加に寄与した。
  - ・計画期間中の事業追加によって、地域に点在する遊休資源を活用し、再稼働させる取り組みを住民とまちづくり会社が一体となって考えるワークショップが行われ、多くの魅力あるアイデアが発案された。その後、そのアイデアが実現するまで、まちづくり会社が開業希望者に対し、伴走してサポートを行うことで、飲食店や住宅が整備され、空き家の活用に寄与した。

### <例>

飲食店の事業アイデアはあるが、店舗を出店する場所に困っていた開業希望者に対し、まちづくり会社が、まちなかニーズの分析・調査を行い、より出店に適した空き物件の紹介を行ったり、具体的な店舗の活用方法の検討から実際の整備までを開業希望者と共同で行ったりしたことで、魅力ある飲食店の出店に繋がった。

## (4) 基準値からの改善状況

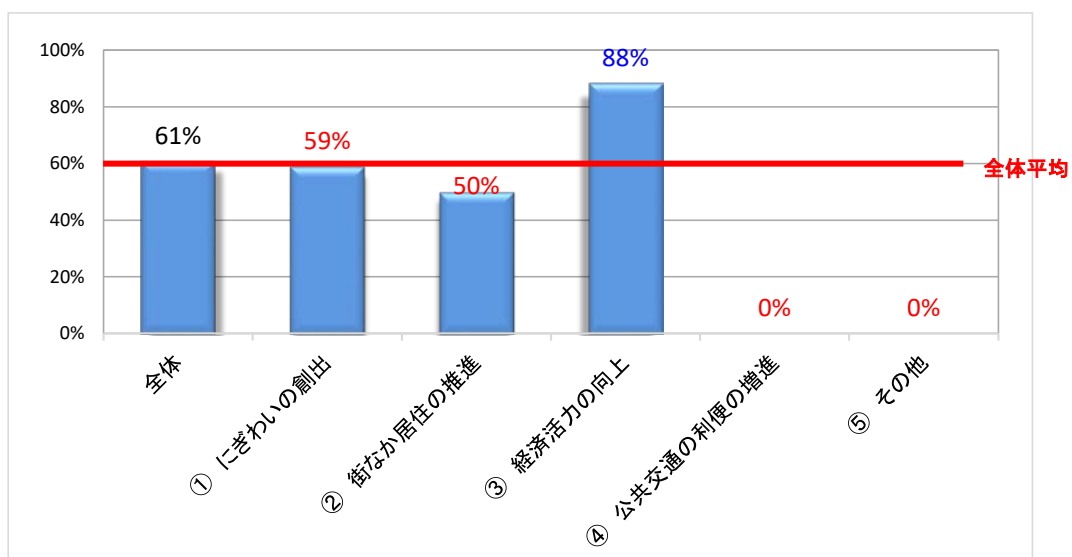
- 現況（実績値）が基本計画策定時の状況（基準値）から改善している<sup>(注1)</sup>  
目標指標は、全体の61%である。（平成30年度 64%）
- 「経済活力の向上」に関する目標指標は、実績値が基準値から改善している目標指標の割合（基準値改善率）が全体平均より高い<sup>(注2)</sup>。
- 一方で、「にぎわいの創出」、「街なか居住の推進」、「公共交通の利便の増進」、「その他」に関する目標指標は、基準値改善率が全体平均よりも低い<sup>(注2)</sup>。

### 基準値からの改善状況に関する分析結果

#### <各目標指標分野の改善状況>

	全体	① にぎわいの 創出	② 街なか 居住の推進	③ 経済活力 の向上	④ 公共交通の 利便の増進	⑤ その他
基準値より改善 (A+a+B+b)	45	23	7	15	0	0
基準値より悪化 (C+c)	29	16	7	2	2	2
合計	74	39	14	17	2	2
<b>基準値改善率</b>	<b>61%</b>	<b>59%</b>	<b>50%</b>	<b>88%</b>	<b>0%</b>	<b>0%</b>
上記の内、 取組の進捗が 順調だったもの	基準値より改善 (A+B)	39	21	4	14	0
	基準値より悪化 (C)	18	12	2	2	0
	合計	57	33	6	16	2
	<b>基準値改善率</b>	<b>69%</b>	<b>64%</b>	<b>67%</b>	<b>88%</b>	<b>0%</b>

#### <目標指標分野別基準値改善率の比較>



(注1) 取組の進捗状況及び目標達成状況の分類（P 1参照）のうち、「現況（実績値）が基本計画策定時の状況（基準値）から改善している」ものは、A、a、B1、b1、B2及びb2が該当する。

(注2) 全目標指標の基準値改善率が61%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「基準値改善率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

### Ⅲ. 計画期間終了後の中心市街地の状況

各自治体が市街地の状況や中心市街地活性化協議会及び市民の意見等を参考に、計画した事業が順調に完了したかどうか、また、中心市街地という単位で活性化が見られたかどうかについて総合的な判断を行った。

#### (1) 事業の進捗・完了状況及び活性化状況に係る自治体の評価について

- 対象21市21計画のうち19計画について、計画した事業が概ね順調に完了したと判断している。
- 対象21市21計画のうち全21計画について、各自治体の自己評価により中心市街地の活性化が見られたとされている。

##### 【事業の進捗・完了状況】

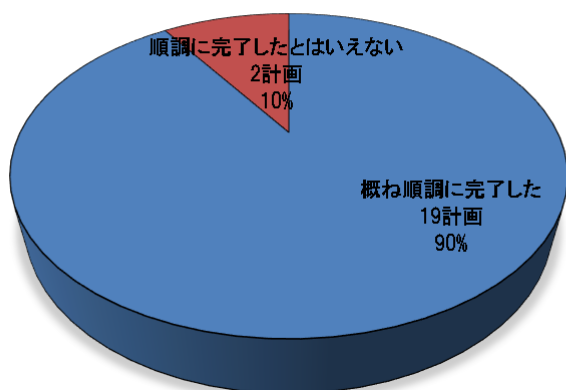
(計画期間終了後の状況)	概ね順調に完了した	順調に完了したとはいえない
計画数(全21計画)	19計画	2計画

##### 【活性化状況】

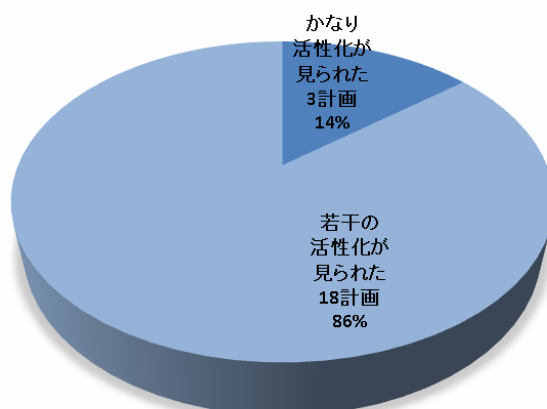
(計画期間終了後の状況)	かなり活性化が見られた	若干の活性化が見られた	活性化に至らなかった(計画策定時と変化なし)	活性化に至らなかった(計画策定時より悪化)
計画数(全21計画)	3計画	18計画	0計画	0計画

※計画した事業は予定通り完了したのか。また、中心市街地の活性化は見られたのかを個別指標ではなく中心市街地の状況を自治体が総合的に判断。

##### 【事業の完了状況】



##### 【活性化状況】



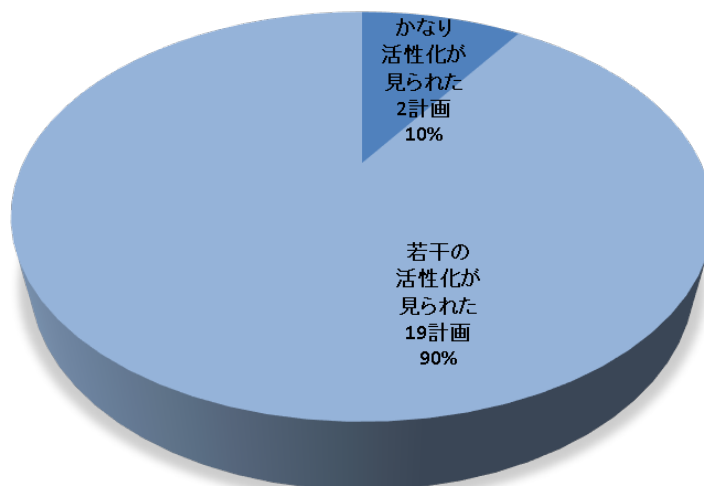
## (2) 中心市街地活性化協議会の評価について

- 対象21市21計画のうち全21計画について、各自治体の中心市街地活性化協議会により中心市街地の活性化が見られたとされている。

### 【中心市街地活性化協議会としての活性化状況の評価】

(計画期間終了後の状況)	かなり活性化が見られた	若干の活性化が見られた	活性化に至らなかった (計画策定時と変化なし)	活性化に至らなかった (計画策定時より悪化)
計画数(全21計画)	2計画	19計画	0計画	0計画

※中心市街地という単位で活性化が見られたかどうかを中心市街地活性化協議会として判断。



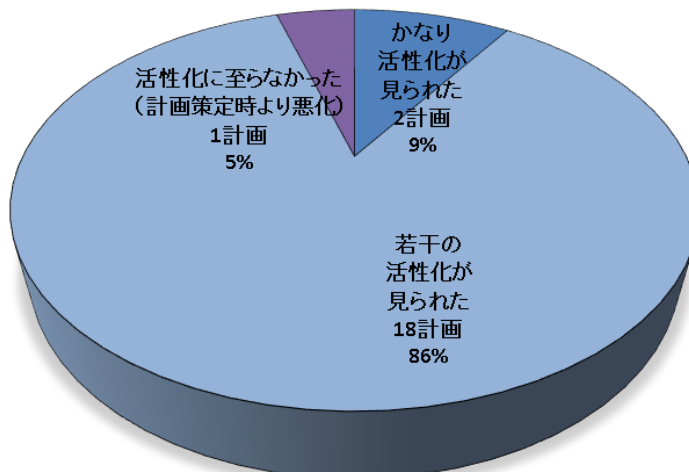
## (3) 市民からの評価、市民意識の変化について

- 対象21市21計画のうち20計画について、各自治体の市民により中心市街地の活性化が見られたとされている。

### 【市民からの評価、市民意識の変化について】

(計画期間終了後の状況)	かなり活性化が見られた	若干の活性化が見られた	活性化に至らなかった (計画策定時と変化なし)	活性化に至らなかった (計画策定時より悪化)
計画数(全21計画)	2計画	18計画	0計画	1計画

※中心市街地の活性化状況について市民意識調査等により市民の声を聴取し、市民意識の変化を総合的に判断。



# IV. 好取組事例

## ○【群馬県高崎市】

駅周辺の戦略的な取組によってまちなかの回遊性を向上させた事例

## ○【兵庫県川西市】

地区環境イメージの一新により居住人口を増加させた事例

## ○【兵庫県姫路市】

駅前のトランジットモール化によって賑わいを創出した事例

## ○【山口県岩国市】

駅周辺整備の強化及び空き店舗対策等により、新規出店数を促進した事例

## ○【埼玉県川越市】

切れ目のない事業者支援が堅実な新規出店を促進した事例

## ○【北海道岩見沢市】

創業者への手厚い支援が新規出店数の増加につながった事例

## ○【滋賀県長浜市】

冬季の宿泊者数の落ち込みを抑えた事例

### 【群馬県高崎市】駅周辺の戦略的な取組によってまちなかの回遊性を向上させた事例

#### 計画実施以前の課題

「目的地以外には立ち寄らない」利用者行動

高崎駅を起点として、利用者の行動範囲が直線的であり、周辺への波及効果が得られていなかった。

#### 成功のポイント

駅からの徒歩圏内に  
大規模集客施設の整備

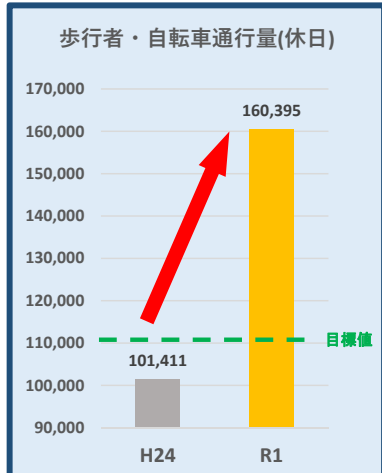


駅東西を回遊できるペデス  
トリアンデッキの整備

商店街を回遊できる  
コミュニティサイクル事業



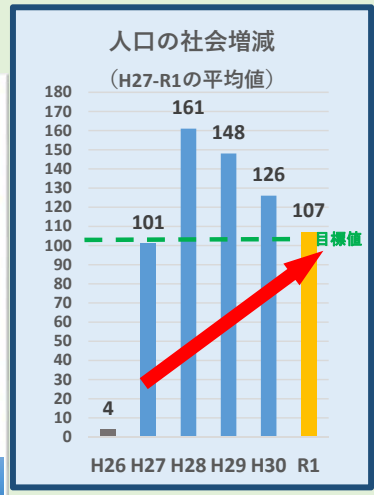
来街者の行動範囲の拡大



# 【兵庫県川西市】地区環境イメージの一新により居住人口を増加させた事例

## 計画実施以前の課題

工場集積跡地において、居住環境の整備ができておらず、居住人口が伸び悩んでいた。



## 成功のポイント

- 新たな住宅施設の供給(202戸)
- +
- 徹底した市民参加による新しい公共空間(公園)の整備
- +
- 福祉・保健・公民館機能が連携した複合施設の整備
- ↓
- 子育て世代や高齢者も暮らしやすい環境の整備  
市街地の居住人口の増加



**キセラ川西マンション建設事業**  
**中央公園整備事業**  
**キセラ川西プラザ整備事業**

PFIの手法を活用した土地区画整理事業や民間開発事業を誘致する業務を連携することで市民の憩いの場となる公共空間が生まれ、併せて複合文化施設を整備することで、居住環境のイメージ向上に成功。

**中活プログラムの視点**  
 1-1) 多世代が安心して暮らしているまちづくり  
 4-6) PPP/PFIの積極的活用

# 【兵庫県姫路市】駅前のトランジットモール化によって賑わいを創出した事例

## 計画実施以前の課題

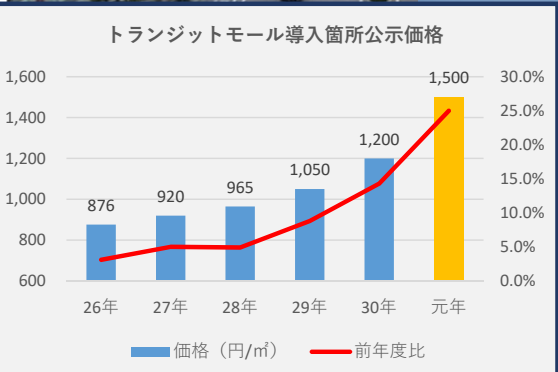
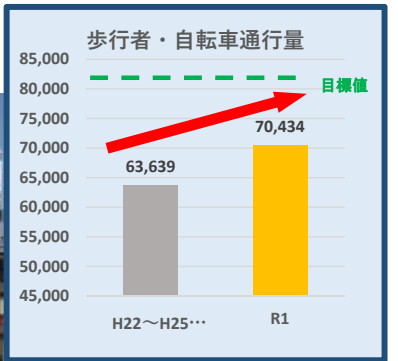
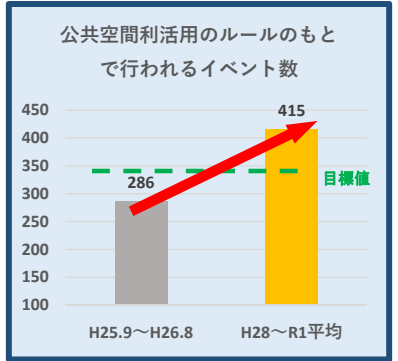
通過交通が多く、歩行者と車両が交錯

駅前を通過する一般車両が多く、歩行者と交錯し、歩行者が滞留する環境空間が少ない状況であった。



## 成功のポイント

- トランジットモール化と駅広整備により安全でゆとりある歩行空間を創出
- +
- 駅前広場を活用したイベント数の増加
- ↓
- 駅前大通りの人の流れの増加
- ↓
- 地域価値の向上



※トランジットモールとは  
 自動車を排除した歩行者専用空間に、路面電車、バス、あるいはトロリーバス等路面を走行する公共交通機関を導入した空間



## 姫路駅北駅前広場活用事業

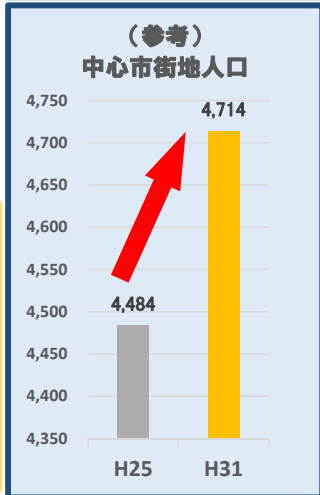
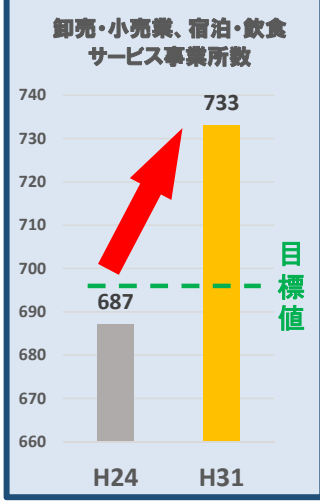
車道の2車線化と歩道の大幅拡張、それと同時に整備された広場においてイベントを実施する。

- 中活プログラムの視点**
- 1-2) 人の交流の活性化
  - 4-4) 地域におけるビジョンづくり

# 【山口県岩国市】駅周辺整備の強化及び空き店舗対策等により、新規出店数を促進した事例

## 計画実施以前の課題

岩国駅の東西の分断・商店街の空洞化により空き店舗の増加が続いた



◎東西の一体化・バリアフリー化による利便性向上の取組  
・岩国駅周辺整備事業  
H29年に橋上駅舎・東西自由通路を整備し供用開始。バリアフリー化を推進し高齢者にも配慮。利便性の大幅向上。

・共同住宅建築事業  
駅の利便性向上に伴い、市街地にて住宅建築が活性化。人口増加に加え、東地区の公示地価も向上するなどの効果。

中活プログラムの視点  
1-2) 人の交流の活性化

◎新規出店への支援(一部抜粋)  
・起業家スター誕生支援事業  
「あきてんぼツアー」の開催  
→テナント見学と併せ街歩きを楽しみながら街の歴史等を解説。「いわくに創業カレッジ」  
一年に1回起業希望者を募集。受講者を対象とした支援も整備。  
・空き店舗活用奨励事業  
従前の商店街エリア⇒市街地全域に支援エリア拡大し出店促進。  
◎既存店舗への支援(一部抜粋)  
・まちなか商店リニューアル助成事業(新規出店も利用可能)  
店舗改修費用を支援。新規出店への支援との相乗効果を創出。

中活プログラムの視点  
2-2) 空き店舗対策の強化

# 【埼玉県川越市】切れ目のない事業者支援が堅実な新規出店を促進した事例

## 計画実施以前の課題

中心市街地事業所数の継続的減少

中心市街地への事業所等の集積が進んでいたが、事業所数自体が減少していた。

## テナントミックス事業

まちづくり会社が、空き地、空き店舗の情報を集約、必要に応じて、業種・業態を考慮した個店の業種構成の見直し、不足業種店舗誘致に向けた調整を行った。

アパレル 青果  
飲食 芸術  
テナントミックス

中活プログラムの視点  
2-2) 空き店舗対策の強化

## 成功のポイント

まちづくり会社のトライアル支援  
立地決定に必要な情報提供  
商工会議所の経営ノウハウ

堅実な新規出店増加

## 情報集約/提供

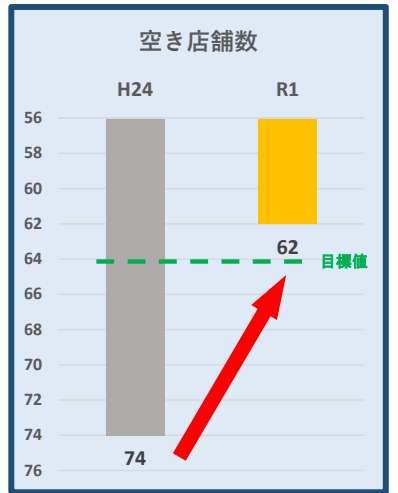


まちづくり会社の情報力

## チャレンジ環境整備



まちづくり会社の手厚さ



## 専門性を活かした経営サポート



パートナー機関と連携支援  
・アセスメント(中小企業診断士)  
・経営革新計画策定  
・補助金申請支援  
・融資サポート  
・寄り添い型の密着支援

商工会議所の専門性

## 若手人材育成事業

若手経営者・商業主等を対象に、時代の変化や消費者等のニーズにあった商業経営のあり方等について、研究会・勉強会を実施・支援した。



中活プログラムの視点  
4-2) 人材の確保・育成の強化



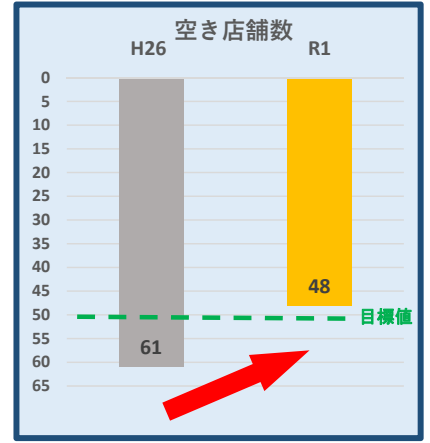
多種多様な出店の増加

# 【北海道岩見沢市】 創業者への手厚い支援が新規出店数の増加につながった事例

## 計画実施以前の課題

商業業務集積地区内における空き店舗数の動向

前期計画において、当初こそ空き店舗数の減少が見られたものの、その後は横ばいで推移していた。



## 成功のポイント

空き店舗の調査から、改修支援まで一体的なサポート

ニーズに合わせ、改修費用を効果的に補助

創業後の充実したフォローアップ体制

空き店舗数の減少

新規出店数の増加

創業準備～相談・調査～



※ 創業支援事業  
※ 空き店舗・空き家等利活用促進事業

- ✓ 空き店舗の調査・紹介
- ✓ 創業塾の開催
- ✓ 融資相談
- ✓ 家主への家賃引き下げ交渉

※ 空き店舗等改修支援事業  
※ 既存店舗改修支援事業

- ✓ 空き店舗、空き家を店舗や飲食店に変更する際の改修費用補助
- ✓ 既存店舗の事業拡大のための改修費用補助

創業準備～店舗改修～



※ まちなか商業環境改善事業  
※ 商店街再興戦略支援事業

- ✓ 商店主の意識調査の実施し、まちなかの商業環境を改善
- ✓ 魅力ある商店街づくりに向けた市場調査に対する支援

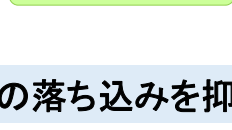
中活プログラムの視点

- 2-2) 空き店舗対策の強化
- 2-6) 既存施設の活用

※ 商店街後継者対策事業  
※ アドバイザー派遣事業

- ✓ 若者のインターンシップを行い、後継者の確保を支援
- ✓ 商店街が抱える課題の解決に向けて、アドバイザーを派遣

創業後～営業支援～



創業後～人材育成～

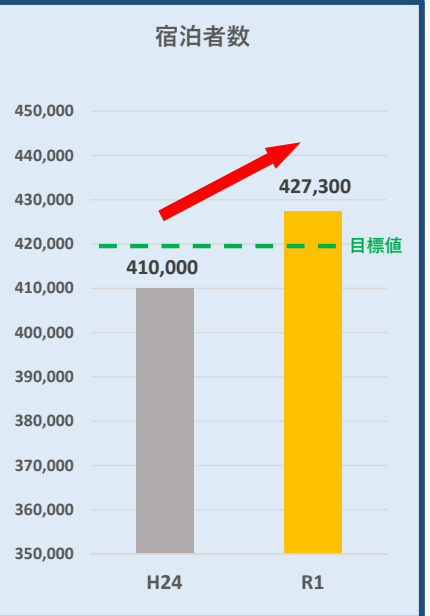


# 【滋賀県長浜市】 冬季の宿泊者数の落ち込みを抑えた事例

## 計画実施以前の課題

冬季における客室稼働率の落ち込みと、宿泊圏に対する集客力の弱さ

市内宿泊施設の年間客室稼働率は全国平均とほぼ同じ数値であるが、1～3月の客室稼働率は、全国平均から大きく落ち込んでいた。また、日帰り観光圏からの観光客が中心であった。



中活プログラムの視点

3-1) 地域資源の活用

長浜浪漫パスポート事業

点在する観光施設をお得な周遊パスポートによりつなぐことで滞在時間の延伸を図り、日帰り観光から宿泊型観光へ転換させる。  
対象施設=●



長浜城



中活プログラムの視点

3-1) 地域資源の活用

盆梅展魅力強化事業

旅行閑散期である冬季における集客策として、盆梅を活用したイベントである盆梅展(S27-)を強化し、宿泊者数の増加を図る。



＜長浜盆梅展in万博記念公園 梅まつり＞ ＜大山和幸コラボライトアップ展示＞

## 成功のポイント

地域資源を活かした冬のイベントを強化

観光PR事業の強化

閑散期である冬季の客室稼働率が増加

新たな顧客層の獲得



# V. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各自治体からの報告

## <評価分類>

- A 最新の実績では目標値を超えることができた。(計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了した。)
- a 最新の実績では目標値を超えることができた。(計画した事業は予定どおりには進捗・完了しなかった。)
- B1 最新の実績では目標値には達していないが、その80%は超えている。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- b1 最新の実績では目標値には達していないが、その80%は超えている。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)
- B2 最新の実績では基準値には達しているが、目標値の80%には及ばず。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- b2 最新の実績では基準値には達しているが、目標値の80%には及ばず。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)
- C 最新の実績では目標値及び基準値に達していない。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- c 最新の実績では目標値及び基準値に達していない。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)

## <事業の進捗・完了状況>

- ① 概ね順調に進捗・完了した。
- ② 順調に進捗したとはいえない。

## <活性化状況> (自治体評価、中心市街地活性化協議会評価、市民評価)

- ① かなり活性化が見られた。
- ② 若干の活性化が見られた。
- ③ 活性化に至らなかった。(計画策定時と変化なし)
- ④ 活性化に至らなかった。(計画策定時より悪化)

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	自治体評価			中活協議会評価	市民評価
				評価分類	進捗・完了状況	活性化状況		
平成26年3月28日認定								
岩手県	久慈市	やませ土風館の集客力を高め、商店街への波及効果を促進する	やませ土風館・複合施設の利用者数	c	②	②	②	②
		駅前地区の再生により中心市街地全体の回遊を達成する	やませ土風館の商品販売額	A				
		社会増減人口の減少に歯止めをかけ、定住性を向上させる	歩行者・自転車通行量	C				
群馬県	高崎市	市民・まちなか居住者・広域来訪者が楽しく回遊できるまち	中心市街地定住人口に係る社会増減数	c	①	①	①	①
		高い集客力を生かした経済活力にあふれるまち	歩行者・自転車通行量(休日)	A				
		音楽を中心とした“高崎文化”を創造・発信するまち	小売業年間商品販売額	B1				
滋賀県	長浜市	活祭りに人が行き交うまちの実現	文化施設の利用者数の合計値	B2	①	②	②	②
		新たな交流を生み出すまちの実現	歩行者・自転車通行量	C				
		暮らしやすいまちの実現	宿泊者数	A				
山口県	山口市	まちに来る人を増やし、楽しんでもらう	市全体に占める中心市街地の居住人口の割合	c	①	②	②	②
		まちの新陳代謝を回り、活力を高める	商店街等通行量(休日)	C				
		まちの定住人口を増やす	中心商店街の空き店舗数	A				
長崎県	諫早市	賑わうまち	居住人口の社会増減(5年間の総数)	a	①	②	②	②
		ひとが集うまち	アエル中央商店街の歩行者通行量(平日)	C				
		安心して生活できるまち	駅乗降客数(諫早駅、本諫早駅(島原鉄道)の合計)	C				
平成26年10月17日認定								
山口県	岩国市	快適な交通環境の創出	JR岩国駅の乗降客数	C	①	②	②	②
		活力と魅力あふれる商環境の創出	卸売・小売業・宿泊・飲食サービス業の事業所数	A				
		誰もが住み良い環境の創出	本通商店街・中通商店街・中央通り商店街の空き店舗率	B2				
北海道	富良野市	市民の中心市街地活性化への意識向上による協働のまちづくり	歩行者等通行量(平日)	C	①	①	①	①
		中心市街地に共同住宅建設の推進	歩行者等通行量(休日)	C				
		新規出店誘致により商業集積を高める	イベント・教室等開催件数	B2				
山梨県	甲府市	滞留拠点施設整備とまちなか情報発信により回遊する人々を増やす	歩行者通行量	B2	①	②	②	②
		快適な歩行空間と人が集う魅力的な商店街の整備によるまちの活力の発揮	空き店舗数	A				
		にぎわいの場を結ぶルートの整備とまちの魅力の創出	歩行者通行量	C				
平成27年1月22日認定								
宮城県	石巻市	定住人口の増加	居住人口	c	①	②	②	②
		交流人口の増加	2施設の利用者数	A				
			歩行者・自転車通行量	B2				
静岡県	浜松市	来たい都心～にぎわいのある魅力あふれる空間の創出～	歩行者通行量(休日)	A	①	①	②	②
		住みたい都心～快適な都心生活空間の創出～	公共施設入場(来場)者数	A				
		参加したい都心～市民協働による浜松型都心経営モデル～	中心市街地の居住人口	B2				
平成27年3月27日認定								
埼玉県	蕨市	空間ストックの有効活用による新陳代謝の誘発	空き店舗・低未利用地	B2	②	②	②	④
		来街目的の多様化による賑わい創出	休日の歩行者・自転車通行量	b2				
		中心市街地への市民の支持向上	蕨市立歴史民俗資料館の来館者数	c				
岐阜県	高山市	住みやすいまち	市民意識調査における「蕨駅周辺の整備」の満足率	c	①	②	②	②
		にぎわいのあるまち	市民意識調査における「商店街の活性化」の満足率	c				
		やさしさにあふれるまち	中心商店街歩行者自転車通行量	A				
長崎県	長崎市	まちなかのにぎわいの創出	中心商店街営業店舗数	C	①	②	②	②
		商業の活性化	公共施設利用者数	C				
		交流人口の拡大	1日当たりの歩行者通行量(平日)	B2				
北海道	岩見沢市	暮らし環境の向上によるまちなか住まいの促進	1日当たりの歩行者通行量(休日)	A	①	②	②	②
		岩見沢らしい賑わいづくりで生まれるまちなか回遊の促進	小売業年間商品販売額	C				
		多世代がふれあうまちなか交流の促進	主要観光施設入場者数	C				
埼玉県	川越市	回遊性の向上	中心市街地居住者人口	B2	①	②	②	②
		商業・サービス業の活性化	中心市街地歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)	C				
		居住満足度の高い安全・安心な中心市街地の形成を進める。	商業業務集積地区空き店舗数	A				
長野県	上田市	市民、事業者等が連携した活動により地域活力の向上を図る。	公共・公益施設利用者数	A	①	②	②	②
		地域経済の活性化	歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)	B2				
		まちなかの賑わい創出	歩行者通行量	a				
静岡県	掛川市	まちなか居住の促進	中心市街地の居住人口	b2	①	②	②	②
		まちなか交流人口の増加	中心市街地の歩行者通行量	c				
			中心商店街の空き店舗数	A				
兵庫県	姫路市	新たな魅力の創出と移動環境の向上による来訪者数の増加	まちなか交流人口(掛川城周辺施設利用者数)	B2	①	②	②	②
		新陳代謝の促進による街なか(商店街)の活性化	歩行者・自転車通行量	B2				
		多世代が快適・便利に暮らせる居住環境の向上	空き店舗数	B2				
		市民が躍動できる仕組み・体制の構築	居住者数	A				
			公共空間利活用のルールのもとで行われるイベント実施日数	A				

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	自治体評価			中活協議会 評価	市民 評価
				評価 分類	進捗・ 完了 状況	活性化 状況		
兵庫県	川西市	多彩な活動や交流が広がる中心市街地の創造 暮らしやすくなる魅力的な中心市街地の創造	歩行者・自転車通行量(休日)	B2	①	②	②	②
			来街者の平均滞留時間	B2				
			人口の社会増減	A				
平成27年6月30日認定								
福島県	会津若松市	商機能の向上 交流人口の拡大 まちなかにおける市民による活動量の増加	新規出店者数	A	①	②	②	②
			歩行者通行量	C				
			活動拠点施設利用者数	C				
鳥取県	倉吉市	誰もが持続的に住みやすくなる暮らしやすい生活環境を備えたまち 歴史的・文化的資源を活かした回遊型観光のまち 小規模でも高付加価値な事業活動を創出するまち	中心市街地全体の人口の社会増減	c	①	②	②	②
			中心市街地における観光入込客数	c				
			中心市街地における創業事業所数	b2				